

あなたのそばに エス・ディー・ジーズ SDGs

最近、「SDGs」という言葉をよく耳にするのではないのでしょうか。なんとなく言葉は聞いたことがあるけれど、詳しくは知らないという方も多いと思います。

今回はSDGsにつながる取り組みや私達が日々の生活の中で簡単にできることについてご紹介します。

よりよい未来を築くために、私達ができることについて考えてみませんか。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは..

SDGsとは「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) の

略で、すべての人が幸せに暮らせる世界をつくるために2015年に国連サミットで採択された国際目標のことです。

「貧困をなくそう」「すべての人に健康と福祉を」などが掲げられていて、2030年までにこの目標が達成できるよう、世界中で取り組まれています。

SDGsは「誰一人取り残さない」という理念のもと、17のゴール(目標)が設けられ、それらを達成するための169の具体的なターゲット(到達点)が示されています。



／ お話を聞きました ／

日野町エコライフ推進協議会と日野町消費学習グループの会長を務められている満田^{みつだ}法子^{のりこ}さんに、SDGsについて学ばれたことや日常生活での取り組みについて伺いました。

●本を読んで受けた衝撃

グループの学習会で「地球の危機をさげふ生きものたち」という本を読まれた満田さん。「本を読んで、地球温暖化などの影響で砂漠化が起きていることや海を漂うプラスチックが増え続けていることを知りました。このまま何もしなければ、2050年までに、海でくらす魚より海を漂うプラスチックの方が多くなるかもしれないと知り、とても驚きました」と危機感を覚えたそうです。

●まずは「知る」ことが大事

「まずは、いま、世界中で起きている問題や抱えている課題について『知る』ことが大事だと思います。そして、何をしなければならぬのか、何ができるのかを考え、取り組んでいくことが大切だと思えます」と話してくださいました。

●SDGsにつながる取り組み

「買い物のときにエコバックを使うなど、日常生活でプラスチックごみを減らすようにしています。また、食品ロスを減らすために、完食できる量の食事をつくることや、コンポストを使って生ごみを畑の堆肥にしたり、野菜の切れ端を冷凍して出汁に使ったりしています」と日常生活でも簡単にできる取り組みを紹介してくださいました。

●広報ひので啓発を

広報ひのでは、定期的に日野町エコライフ推進協議会が行う、SDGsにつながる取り組みをお伝えしていきます。



日野町で見つけたSDGsの取り組み

どんなことがSDGsにつながるのか、日野町で行われている取り組みの一部を紹介します。

桜谷小学校に TENT を寄贈



㈱カンボのSDGs私募債発行に伴い、㈱滋賀銀行から桜谷小学校にTENTが寄贈されました。

SDGs私募債は、SDGs達成に貢献したい企業が滋賀銀行で私募債を発行し、発行金額の0.2%相当額の寄贈品を滋賀銀行が学校などに寄付するという仕組みです。

ペットボトルからカーペットを製造



わらべ保育園に、園児と保護者が集めたペットボトル1,000本から製造されたカーペットが贈られました。

このプロジェクトは、滋賀SDGs×イノベーションハブが間を取り持ち、(社福)わたむきの里福祉会、㈱トーシン、住江テクノ㈱の3社が連携し実施されました。

これもSDGs!

地元野菜でおいしい料理を

月に一度、日野観光協会で開催される「日野の味覚市」。日野町で採れた野菜や町内にあるお店のおいしいグルメなどが集まります。



手洗いうがいをしっかりする

自らの感染を防ぎ、感染を拡げないことが多くの人の「福祉」につながります。

